

JICA 関係者限定資料

ブルキナ・ファソ

任国情報

1999年

JICA LIBRARY



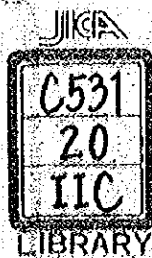
J 1154278141

国際協力事業団

国際協力総合研修所

ブルキナ・ファソ

国際協力総合



は し が き

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家などのJICA関係者に、赴任国での生活上必要な情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様から多大なご協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関のご好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解ではないことを付記いたします。

平成11年12月

国際協力事業団
国際協力総合研修所長

*スペイン語の表記は、アクセント記号などを省略いたしましたのでご了承ください。

1154278 [4]



1154278 [4]

目 次

I 概 況	i
II 生活事情	1
1. 食生活	1
2. 衣 料	11
3. 住 宅	12
4. 医 療	17
5. 教 育	22
6. 家庭の使用人	25
7. 交通事情	29
8. 通 信	32
9. マスコミ	35
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ	36
11. その他のサービス	42
12. 観 光	44
13. 治安、緊急時の心得	48
14. 出入国手続きおよび帰国手続き	49
15. 私財の輸送、引き取り、購入	51
16. 社 交	53
17. 任国官公庁	54
18. 在外日本関係機関など	55
19. 地方都市	55

I 概況

表-1:ブルキナ・ファソ概況

正式国名	(和文)ブルキナ・ファソ (英文) Burkina Faso*注1
独立年月日	1960年8月5日、オートボルタ共和国として独立*注2
旧宗主国	フランス
政体	共和制*注2
元首	ブレーズ・コンパオレ (Blaise COMPAORE) 大統領 (1998年11月再選)*注2
面積	27万4200km ² *注2
首都	ワガドゥグ*注2
総人口	10.47百万人
民族	モシ族、グルーウンシ族、ボボ族*注2
公用語	フランス語*注3
宗教	伝統宗教、イスラム教、キリスト教*注2
暦	<p><日本との時差> -9時間*注3</p> <p><祝祭日> (1999年)</p> <p>1月1日 新年 (Jour de l'an)</p> <p>* 1月19日 ラマダン明け休日</p> <p>3月8日 女性の日 (Journée de la Femme)</p> <p>* 3月28日 犠牲祭 (Tabaski : タバスキ、ラマダン明けの70日後)</p> <p>* 4月5日 復活祭翌日の月曜日 (Lundi du Pâques)</p> <p>5月1日 メーデー (Fête de Travail)</p> <p>* 5月13日 キリスト昇天祭 (Ascension)</p> <p>* 5月23日 精霊降臨祭 (Pentecôte)</p> <p>* 6月26日 マホメット生誕祭 (Mouland)</p> <p>8月4日 革命記念日 (Anniversaire de la révolution)</p> <p>8月5日 独立宣言日 (Proclamation de l'Indépendance)</p> <p>10月15日 修正記念日 (Anniversaire Rectification)</p> <p>11月1日 万聖節 (Toussaint)</p> <p>12月11日 独立記念日 (Fête de l'Indépendance)</p> <p>12月25日 クリスマス (Noël)</p> <p>(*年により変動する祝祭日)</p>

出所 注1:『国際協力事業団法令・規程集』国際協力事業団

注2:『世界年鑑』1999 共同通信社

注3:『世界の国一覧表』1999 外務省

1. 国土の概要

西アフリカの内陸国。サバンナ、草原が多く、国全体が広大な高原状の形をなし、モシ高原が国土の半分以上を占めている。6カ国と国境を接しており、旧国名オートボルダとはフランス語のボルタ川上流という意味である。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

『世界各国要覧 9訂版』1999 東京書籍

2. 気候

平均気温27℃。南部では6～10月が雨期だが、降水量は年間1000mm程度である。モシ高原以北はサハラ性の気候で雨量は非常に少ないが、モシ高原以南はスーダン性気候で雨量は多い。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

『世界各国要覧 9訂版』1999 東京書籍

表-2 : ワガドゥグの気候 (北緯12.21度、西経1.31度、標高306m)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
平均気温 (°C)	24.7	27.7	30.9	32.6	31.6	29.3	27.2	26.3	27.0	28.8	27.7	25.1	28.2
降水量 (mm)	0.1	0.8	5.0	24.0	73.5	108.5	183.4	218.4	136.3	31.6	0.6	0.5	782.7
平均湿度 (%)	25	21	22	36	50	64	72	80	77	60	38	29	48

出所 『世界各国要覧 9訂版』1999 東京書籍

3. 人口

総人口は1047万4千人である。首都ワガドゥグ (Ouagadougou) は63万4000人、ボボ・デュラッソ26万9000人、クドゥグ5万2000人である。

(参考文献)

『各国・地域事情と日本の関係』外務省ホームページ

『世界年鑑』1999 共同通信社

4. 略史

表-3：ブルキナ・ファソ略年表

年	出来事
11～13世紀	モシ族の王国
1904年	仏領西アフリカ連邦
1960年 8月	独立宣言
1966年 1月	軍事クーデター
1980年 11月	軍事クーデター
1982年 11月	軍事クーデター
1984年 8月	国名変更（オートボルタからブルキナ・ファソへ）
1987年 10月	軍事クーデター、コンパオレ大尉政権
1990年 10月	マルクス・レーニン主義放棄
1991年 6月	新憲法国民投票実施、採択
1991年 12月	大統領直接選挙によりコンパオレが選出
1992年 5月	国民議会選挙実施
1997年 5月	国民議会選挙実施、与党が圧勝
1998年 12月	大統領選挙（コンパオレ大統領再選）

出所 『各国・地域事情と日本の関係』外務省ホームページ

5. 民族

モシ族が主体、その他グルーウンシ族、ボボ族など。

（参考文献）

『世界年鑑』1999 共同通信社

6. 言語

公用語はフランス語である。そのほかモシ語、フルベ語などがある。

（参考文献）

『世界年鑑』1999 共同通信社

7. 宗教

伝統宗教が過半数、その他イスラム教30%、キリスト教10%など。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

8. 文化

貧しいが、国民は陽気で温和である。欧州人は古くから彼らの勤勉、正直な性格を評価している。成人識字率は男性が30%、女性10%である(1995年)。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

9. マス・メディア

(1) 新聞

日刊紙は政府紙『Sidwaya』(スドワヤ 約3000部)、独立紙『Observateur Paalga』(オプセルバトゥール・パールガ 約8000部)、『Le Pays』(ル・ペイ 約4000部)、『Le Journal du Soir』(ル・ジュールナル・デュ・ソワール)など。ブルキナ通信がある。

(参考文献)

The Europe World Yearbook 1999 Europe Publications

(2) 放送

ラジオ5局、テレビ1局がある。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

10. わが国との関係

(1) 日本との外交関係概要

日本は1960年8月に国家承認。コンパオレ大統領が1993年10月に続き、1995年12月に訪日。小学校建設など日本が6億2000万円の無償資金協力を実施する交換公文などに署名した。

対日貿易は輸出が採油用種子、綿花など、輸入は自動車、鉄鋼など。在留邦人は26人である(1998年10月1日現在)。日本を中心とする先進国企業のコソソーシアムが同国のマンガン鉱の開発に取り組んでいる。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

『各国・地域事情と日本の関係』外務省ホームページ

『世界各国要覧 9訂版』1999 東京書籍

(2) 要人往訪 (1982年以降)

1982年 9月 稲垣実男衆議院議員

(3) 要人来訪 (1971年以降)

1971年 6月 ロンボ社会・公共事業・運輸大臣

1971年 8月 ティエントラバム青年・スポーツ大臣

1974年 4月 フィリップ・ウエドラオゴ大統領特使

1977年 10月 マハムドゥ・ウエドラオゴ公共事業大臣

1978年 10月 カルググ外務大臣 (外賓)

1979年 5月 マハムドゥ・ウエドラオゴ公共事業大臣

1985年 3月 バロ財務大臣

1988年 5月 ソンゴ経済開発大臣

1989年 2月 パルム対外関係大臣 (大喪の礼)

1989年 9月 コンパオレ人民戦線議長 (非公式)

1990年 11月 ヴォクマ対外関係相 (即位の礼)

1991年 7月 ソンダ外務省事務局長 (中堅指導者招へい)

1993年 10月 コンパオレ大統領、ロック・コボール國務大臣、
ジャック・サウドゴ計画担当大臣 (アフリカ開発会議<TICADI>)

1994年 3月 サノン対外関係相

1995年	12月	コンパオレ大統領訪日 (非公式)
1998年	3月	サヌー外務省国際協力総局長 (元文化大臣) 中堅
1998年	10月	コンパオレ大統領、 アプレッセ・ウエドラオゴ外務大臣 (TICAD II)

(参考文献)

『各国・地域事情と日本の関係』外務省ホームページ

表-4：経済指標 [ブルキナ・ファソ] 統計年：1997年

GNP (百万ドル)	*注1	2395
1人当たりGNP (USドル)	*注1	250
実質GDP成長率 (%) (1990~97年平均)	*注1	3.3
消費者物価上昇率 (%) (1990~97年平均)	*注1	6.8
失業率 (%)	*注1	N.A.
貿易収支 (百万ドル)		N.A.
輸出額 (fob)		N.A.
輸入額 (fob)	*注2	N.A.
主要輸出入相手国	*注3	輸出：象牙海岸 (12.7%) 輸入：フランス (33.0%)
経常収支 (百万ドル)	*注1	N.A.
対外債務残高 (百万ドル)	*注4	1297
対外債務返済比率 (%)	*注4	11.8
外貨準備高 (百万ドル)	*注1	345
為替レート (1998年12月末)	*注2	562.21セーファーフラン=1ドル 100セーファーフラン=1フランスフラン
会計年度		1月1日~12月31日

出所 注1：World Development Indicators World Bank

注2：International Financial Statistics Yearbook 1999 IMF

注3：Country Report 4th quarter 1999 Burkina Faso, Niger 1999 EIU

注4：Global Development Finance 1999 World Bank

II 生活事情

1. 食生活

1-1 食料

(1) 一般事情

国産の肉、野菜、果物などは安価である。スーパーマーケットにはヨーロッパ産の野菜、果物、肉や象牙海岸産などの魚介類がある。アジア食材の専門店はないが、中華食材は少し出回っている。

停電が多いため、冷蔵・冷凍食品の品質には注意が必要である。魚介類の生食は避けること。

(2) 主な食料の出回り状況

<米>

タイ米、象牙海岸米、ブルキナ米などがあるがインディカ種が多い。

<パン>

フランスパンは街角の雑貨屋 (boutique : ブティック) で販売している。クロワッサンなどは、菓子/喫茶店 (patisserie/salon de the : パティスリー/サロン・ドゥ・テ) や大手スーパーで購入できる。

<肉類>

国産の牛肉、豚肉、羊肉、鶏肉の品質はよい。そのほか、鴨肉、ウサギ肉、レバーなどもスーパー、専門店で入手可能である。庶民向けの肉市場は安価であるが、衛生面を考慮するとすすめられない。もし利用するのであれば早朝に限る。

<野菜>

主な国産野菜は、トマト、キュウリ、タマネギ、長ネギ、インゲン、ナス、キャベツ、ホウレンソウ (日本の物とは異なる)、サラダ菜、ニンニク、ニンジン、カリフラワー、ジャガイモ、サツマイモなどである。冬にはダイコンや白菜もスーパーなどに出回る。ヨーロッパからはトマト、カリフラワー、ブロッコリー、アンディーブなどが季節に応じて直輸入される。

<乳製品>

ヨーロッパ製品が各種出回っているほか、ブルキナ産の牛乳・ヨーグルト、象牙海岸製バターなどが出回っている。アフリカ産は安価だが品質は落ちる。

<果物>

主な国産果物は、バナナ、マンゴ、パパイア、パイナップル、オレンジ、スイカ

(マリ産もある)、イチゴである。主な輸入果物は、リンゴ(一年中)、ミカン、オレンジ、サクランボ、ブドウ、モモなどである。

<魚類>

輸入冷凍魚介類はスーパーで、国産魚とその燻製は魚専門店で購入できる。象牙海岸で購入、冷蔵して販売する業者もいる。

<缶詰類>

インゲン、グリーンピース、ハウレンソウ、タケノコ、モヤシ、トウモロコシ、ツナ、アンチョビーなどはスーパーなどで購入可能である。

<その他>

菓子(クッキー、ポテトチップス、チョコレート、キャンディーなど)、冷凍食品(ピザ、魚のフライ、フライドポテト)、めん類(スパゲティ、マカロニ、ラーメン)、小麦粉(調理用、菓子用、パン用)、調味料(サラダ油、砂糖、塩、酢、各種スパイス、マヨネーズ、ケチャップ)、飲料(ミネラルウォーター、ジュース、コーラなど)、酒類(ビール、ワイン、ウイスキー、ジンなど)、中華食品(醤油、春雨、キクラゲなど)は入手可能である。

(3) 食料の入手

国内では日本食品は販売していない。パリの大丸に日本米「みのり」などを注文できる(2kg 44FF+送料 電話:406821、406805~09)。

国産の野菜や果物は、マルシェ(marche:市場)で購入すると安価で新鮮である。

輸入食品はスーパーマーケットで購入できる。

主な食品の入手先は次のとおりである。

<スーパーマーケットなど>

Marina Market (マリサ・マーケット)

所在地: Grande mosquée (グロン・モスケ) 東向かい、
avenue Yennenga (アヴェニュー・イエネンガ) 沿い

電話: 310965

営業: 月~土8:00~13:00、15:30~21:00、日祝8:00~13:00、17:30~20:00

備考: 首都ワガドゥグ最大のスーパーマーケット。

上記のほか市内に2店舗ある(規模は若干小さい)。

Scimas/Self Service (シマノセルフ・セルビス)

所在地: 中央市場Marche Central (マルシェ・セントラル) 東、avenue Yennenga

電話: 307619、307630

FAX : 310002

営業 : 月～土8:00～13:00、15:30～20:00、日祝8:00～13:00

備考 : 輸入食品が充実。入り口付近にいる卸業者の卵は新鮮

Cobodim (コボディン)

所在地 : Maison du peuple (ヌゾン・ドゥ・ヌプル) 向かい、
avenue Nelson Mandela (ネルソン・マンデラ大通り)

電話 : 306350

CACI (カスイ、元Peyrissacペリサック)

所在地 : 中央市場東、avenue Yennenga

電話 : 306287～89

営業 : 月～土8:15～12:30、15:30～19:00

備考 : ワインは豊富。食器・家電・機材・文房具を販売。

買い物の前に手荷物をロッカーに入れる

SONACOF (ソナコフ)

所在地 : ニジュールへ向かう幹線道路Route de Fada (ルートウ・ドゥ・ファダ) 沿い、
皮革製造会社SBMC近く

電話 : 364065

Mini Alimentation (ミニ・アリマンタスイオン)

所在地 : Rue Raoul Follereau (ラウル・フォレロー)、
Hotel Independance (ホテル・アンデパンダシス) 近く

電話 : 307143

備考 : スーパーとしては小規模だが冷凍魚介類は比較的豊富にある

<その他食品店>

Palece de viande (パルス・ドゥ・ヴィアンドゥ、肉店)

所在地 : 保存林Bois de Boulogne (ボワ・ドゥ・ブーローニュ) 向かい、
Route de FadaとRue (リュウ通り) 13.03の角

備考 : ベルギー人経営。種類は豊富で鮮度もよい。総菜その他もある

Sipal (スイバル、肉店)

所在地 : 映画館Cine Oubri (シネ・ウブリ) 近く、
rue Agostino Neto (アゴスティノ・ネット) とavenue de Loudun (ルデュン) の角

電話 : 314067

Cave (カーブ、飲料)

備考：ビール、炭酸飲料、ミネラルウォーター（国産のLafitラフィ）をケース単位で買える。国産ミネラルウォーターは1ダース約5000セーファーフラン

<庶民向けマルシェ>

各住区には必ずマルシェがあり、国内産の野菜や果物などを販売している。大手スーパーの店先にも出店がある。

Marche Central

備考：中央市場。食料品、土産物、日用雑貨など。売り子の呼び込みは激しい

Marche Sankariare (マルシェ・サンカリアル)

所在地：駅の北側

備考：主にBobo-Dioulasso (ボボ・デュラッソ) 近郊産の野菜・果物の卸売市場。新鮮で安価

rue de Palestine (パレスティン) の市場

所在地：銀行BICIA-B (ビスィア・ベー) 本店と

菓子・喫茶店Pâtisserie de Koulouba (パティスリ・ドゥ・クルバ) の間

Paspanga (パスパンガ) 地区、avenue de la liberte (リベルテ) 沿道の市場

所在地：憲兵隊Gendarmerie (ジャンダルメリー) と

電気公社SONABEL (ソナベル) の間

<宅配>

Poissonnerie BESSIN [ポワッソヌリー (魚屋) ・ベサン]

電話：363981

備考：週1回、注文票にしたがって象牙海岸で買い付け、冷蔵保存して配達

1-2 食器、調理器具など

(1) 食器、調理器具などの入手

当地で調達できるものは、冷蔵・冷凍庫、ミキサー、アイスクリーム製造機、コーヒーメーカー、浄水器、圧力鍋、鍋、フライパン、洋食器一式、まな板（プラスチック製）、アルミホイル、サランラップなどである。

食器類、輸入調理器具、ガス台はスーパーマーケットなどで購入できる。ガスはボンベ式で、ボンベとガス（交換式）はガソリンスタンドなどで購入する。

CICA/Electro Hall

所在地：中央市場西、avenue P.Lumumba (リュムンバ)

電話：306159~63

備考：電化製品など

Air France (エアー・フランス)

所在地：JICA事務所隣、avenue Nelson Mandela

備考：冷蔵庫、ガス台、水まわり・建築資材など

上記のほか、CACI、Marina Market、SBE (Societe Burkinabe d'Equipement : ソスイエテ・ブルキナベ・デキップモン) などがある。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

茶碗、お椀、箸などの和食器、炊飯器などを持参するとよい。当国の電圧は220vで、差し込みプラグはフランスと共通の丸型2本ピン(Cタイプ)である。

1-3 外食

(1) 飲食店

ワガドゥグにはヨーロッパ人の経営するレストランが10軒程度ある。また、フランス、イタリア、中華・ベトナム、アフリカ料理などの人を招待できるレベルのレストランも数軒ある。いわゆる高級レストランはなく、フルコースでも高くても1万5000セーファーフラン程度(飲み物別)である。ホテルのレストランも悪くはないが割高である。

主なレストランは次のとおりである。

<中華・ベトナム料理>

Restaurant de Chine (レストラン・ドウ・シン) / 中華酒楼

所在地：avenue Houari Boumedienne (ウアリ・ブメディエーナ)とavenue de Loudunの角

電話：311860

備考：中華料理中心。屋内席。やや高い。11:00~15:00、19:00~23:00、年中無休

New Saigon (ニュー・サイゴン)

所在地：624 rue 4.42, Koulouba (クルバ) 地区、アメリカ大使館の南側

電話：203798

備考：ベトナム料理。月休

Le Jardin Bambou (ル・ジャルダン・バンブー)

所在地：15 avenue d'Oubritenga (ウブリテンガ)、Gendarmerieと

国立病院Hopital Yalgado (オピタル・ヤルガド)の間

電話：313514

備考：ベトナム料理。11:00~23:00、無休

Le Mekong (ル・メコン)

所在地：空港向かい

備考：ベトナム料理。Jardin Bambouと経営者同じ

Shanghai Zhen Zhen (シャンハイ・ゼン・ゼン)

所在地：銀行BICIA-B本店裏

Hotel Nazemso (ホテル・ナゼムゼ) 南、rue 4.27

電話：305450

備考：中国家庭料理。10:00～深夜1:00、無休。安い

<フランス料理>

Le Vert Galant (ル・ヴェール・ギャラン)

所在地：旧Aeroflot (アエロフロート) 事務所近く、

avenue Maurice Bishop (モーリス・ビショップ)

電話：306980

備考：11:00～16:00、19:00～22:30、休日は日曜と月曜昼、年休8月～9月上旬。

当国最高のヨーロッパタイプレストラン。屋内席

Le Coq Bleu (ル・コック・ブルー)

所在地：BICIA-B本店北西斜向かい、avenue Kwame N'Krumah (クワンクルマ)

電話：300193

備考：月休。年休8～9月上旬。屋内席

La Rive Droite (ラ・リーヴ・ドゥロワトゥ)

所在地：Hotel Independance南、206 avenue Rue Raoul Follereau

電話：312299

備考：フランス・アフリカ料理。月休。屋外席主体

<イタリア料理>

Les Piliers (レ・ピリエ)

所在地：Zone du Bois (ゾーン・デュ・ボワ) 地区、rue 13.21

電話：361952

備考：月休。屋内・屋外席

Le Verdoyant (ル・ヴェルドワイヤン)

所在地：Place des Nations Unies (プラス・デ・ナシオン・ジュニ) 北側、

2 avenue Dimdolosom (ディンドロブソン)

電話：315407

備考：12:00～14:30、18:00～23:00、水休。年休9～10月上旬。屋外席主体

Le Belvedere (ル・ベルヴェデーレ)

所在地：Hotel Independance南側、116 avenue Raoul Follereau

電話：336421

備考：イタリア・レバノン料理。18:30～、火休。年休8～9月上旬。屋外主体

Sardinia (サルディニア)

所在地：アメリカ大使館南側、avenue Houari Boumedienne

<その他のほかのヨーロッパ料理>

Les Bourgainvilliers (レ・ブーゲンヴィリエ)

所在地：Hotel Independance南側、avenue John-F.Kennedy

電話：314881

備考：11:30～14:30、18:30～22:30、木休。年休10～11月上旬。屋外席主体

Fontaine Bleu (ラ・フォンテーヌ・ブルー)

所在地：Place des Nations Unies北側、12 avenue Dimdoloobson

電話：307083

備考：ヨーロッパ・アフリカ料理。12:00～15:00、18:30～23:00、無休。屋外席主体

Hotel YIBI (ホテル・イビ)

所在地：Hotel Palm Beach (パーム・ビーチ) 近く、rue Dr.Goarnisson (ドクター・ゴアルニソン、入り口) とavenue Kwame N'Krumahの角

電話：307323、307370～1

備考：ホテル併設。6:00～22:00。おすすめはマトンカレー。ソースを特注できるが売り切れが多い

Le Chalet Suisse (ル・シャレ・スイス)

所在地：rue 3.69 (入り口) とrue du Commerce (リユー・デュ・コメルス) の角、

Dapoya (ダポヤ) 地区

電話：313331

備考：スイス料理。Hotel Dapooore併設。屋内席。チーズフォンデュあり

Tam-tam (タム・タム)

所在地：1647 avenue Kadiogo (カディオゴ)

電話：302804

備考：グリル、オーストリア料理。11:00～24:00、火休。シヨークルートあり

Le Milord's Central Pizzeria (ル・ミローズ・セントラル・ピッツェリア)

所在地：中央市場北西斜向かい、rue du Marche

備考：ピザ、アフリカ、ヨーロッパ料理。Hotel Central併設。

12:00～15:00、19:00～24:00。屋内席

Le Mont Blanc (ル・モンブラン)

所在地：rue 433、国連ビル向かい

電話：308919

備考：アフリカ・ヨーロッパ料理、バー。12:00～15:00、19:00～23:00、日休。屋内席

<アフリカ料理>

通常、アフリカ料理店にはヨーロッパタイプのメニューもある。

L'Eau Vive (ロー・ヴィーヴ)

所在地：中央市場北向かい、rue du Marche

電話：306303

備考：ブルキナ料理など。日休。年休6月頃。屋内・屋外席。21:30から賛美歌タイム

Restaurant Hamanien (レストラン・アマニアン)

所在地：Cite An IV A, 4, 5 avenue Kwame N'Krumah

電話：303913

FAX：318734

備考：象牙海岸料理など。11:30～15:00、18:30～22:30。月休

Akwaba (アクワバ)

所在地：Cite An IV地区、avenue Kwame N'Krumah

電話：312376

備考：象牙海岸料理など。11:30～14:30、18:30～24:00、日休。屋内席

La ForIt (ラ・フォーレ)

所在地：中央銀行BCEAO (ベセアオ) 南、avenue Bassawarga (バサワルガ)

電話：307296

備考：9:00～23:00、無休。屋外席

La Colombe (ラ・コロンプ)

所在地：Hotel Independance西、rue Agostino Netoから入る

電話：333065

備考：象牙海岸・セネガル料理。10:00～15:00、18:00～24:00、無休

Maquis Gracias (マキ・グラスィアス)

所在地：1173 avenue Charles de Gaulle (シャルル・ドゥ・ゴール)、
Zogona (ゾゴナ) 地区

電 話：363058

備 考：トーゴ・アフリカ料理。11:00～13:30、18:00～23:00、月休

La Farigoule (ファリグル)

所在地：avenue du Capitaine Kouanda Adama (キャプテン・クアンダ・アダマ)、
Cite An III (シテ・アン・トゥロワ) 地区

電 話：317049

備 考：9:00～24:00、無休

Wapassi (ワプスイ)

所在地：431 rue des Ecoles (リュエ・デゼコール)、Gendarmerie近く

電 話：312780

備 考：10:00～24:00、無休

<その他>

Sindibad (シンドバッド)

所在地：中央市場東側、avenue de Loudun

電 話：305874

備 考：レバノン料理、ハンバーグ

(2) そのほかの飲食店

<食事もできるライブハウスなど>

Le Zaka (ル・ザカ、元Wassa Club：ワッサ・クラブ)

所在地：中央市場東、rue 3.54、最高裁判所Cour supreme (クール・シュープレム) 向かい

電 話：315312

E-mail: bosscom@fasonet.bf

備 考：8:00～深夜2:00、年中無休。20:00から音楽、演劇。屋外席主体

Akwaba Terminus (アクワバ・テルミニユス)

所在地：Hotel Independance南側、avenue John-F.Kennedy

電 話：318734

FAX：318734

備 考：演奏は20:00から。屋内・屋外席。メニューは前述のAkwabaと同じ

Le Sahel (ル・サヘル)

所在地：avenue de Loudun

備 考：ライブ・ディスコ

<バー、スナック>

ホテル以外では、avenue Kwame N'Krumahに数軒ある。

<喫茶、菓子>

Gourmandise (グルマンディーズ)

所在地：中央市場東向かい、rue Urbain Yameogo (ユルベン・ヤメオゴ)

電 話：308162

備 考：7:00~24:00、無休。シャワラマなどの軽食もある。屋内席・テラス席

SONAF Ouagadougou/Patisserie de Koulouba

所在地：avenue de la resistance (レジスタンス)、Hotel Independance南側

電 話：307717、310818

備 考：6:00~12:30、16:00~19:30、日祝6:30~12:30。屋内席

La Bonbonniere (ラ・ボンボニエール)

所在地：avenue Nelson Mandela、Hotel Relax (レラックス) 東側

電 話：306352

備 考：6:00~12:30、16:00~19:00、日曜は午前中。屋内席

La Sorbetiere (ラ・ソルベチエール)

所在地：Grand Mosque東、Rue 4.40

電 話：307345、316037

備 考：6:00~13:00、16:00~22:30、無休。屋内席

La Sorbetiere 支店

所在地：avenue Babanguida (ババンギダ)、Ouemtonga (ウエムテンガ) 地区

電 話：361584

備 考：6:00~13:00、16:00~21:30、日7:00~13:00、16:00~21:30。屋内席

所在地：Pavillon Emeraude (パヴィオン・エメラルド) avenue Kwame N'Krumah

電 話：308951、308948

備 考：日休。屋内席

Cafe des Arts (カフェ・デザール)

所在地：Lycée St-Exupery (リセ・サンテグジュペリ) 隣、rue J.Badoua (バドゥア)

備 考：屋内席

2. 衣料

2-1 衣料

(1) 一般事情

気候は6～9月の雨期と10～5月の乾期に大別される。一年を通じて暑く、乾期の湿度は低い。1月は最も気温が下がり、暑さのピークは4月（ワガドゥグの4月の平均気温32℃）である。雨期は比較的涼しい。

日常は半袖が過ごしやすく、長袖がほしくなるのは1月の早朝くらいである。ただし、冷房が効き過ぎる場所もあるのでカーディガンなどを用意したほうがよい。

屋内勤務の男性の場合、要人と面会するときはスーツ着用、それ以外は半袖・ノーネクタイが一般的である。

一般に、当地で販売されている衣料は高価で、良質な物は望めない。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

必要な衣料、タオル、寝具、靴はすべて日本から持参したほうがよい。特に、邦人に合う靴は当国でもヨーロッパでも見つけにくい。

(3) 任国で調達したほうがよい衣料

品質面から特にすすめられる物はないが、現地服のプーブーや派手な柄の服・生地は入手しやすい。

(4) その他の留意点

秋から春の間にヨーロッパ旅行する場合は冬物衣料も必要になる。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性はスーツ、女性はドレスを着用する。

(2) 式典

パーティーと同様であるが、日中、屋外で行われる場合はメインゲストでなければノーネクタイでもよい。

(3) 冠婚葬祭

パーティーと同様である。

(4) その他の留意点

和服は特に必要ない。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店（pressing：プレスイング）はavenue Houari Boumedienneなどに

数件あり、ドライクリーニングも可能である。ホテルでも受け付けているが割高である。洗剤と水質のせいか、家庭での洗濯では布地の傷みや脱色が日本より著しい。

アイロン、洗濯機は当地で購入できるが、家政婦／夫にすべて手洗いしてもらうことも可能である。雨期以外は乾燥が早いので乾燥機は特に必要ない。

(2) 仕立て、修繕

中央市場とその東向かいrue Urbain Yameogo沿いの店には輸入生地などが豊富にある。仕立て代は安価（半袖シャツ2000セーファーフラン〜）で、一週間くらいででき上がる。ドレスの仕立てもINES Couture（イネス・クチュール、電話：310319、象牙海岸共和国大使館近く）で可能である。紳士服の仕立ても可能だが詳細は不明。

ふだん着であれば、見本などを持参すれば近所の仕立店でも十分である。修繕も仕立店でできる。

(3) 保管

気候が乾燥しているので除湿剤は特に必要ない。防虫剤は必要であり、スーパーなどで購入できる。皮製品はクリームを塗るなどの手入れが日本よりも必要になる。

3. 住宅

3-1 住宅事情

独立家屋が多く、アパート・マンションは少ない。家具付き物件も限られている。

一般に、優良物件、新築物件は少なく、外国人向け住宅はすぐに借り手がつく状態である。

3-2 ホテル事情

ワガドゥグには四つ星ホテルが1軒、三つ星ホテルが10軒ほどあり、三つ星クラスではシングル1泊3〜6万セーファーフラン程度である。

国際協力関係者には15%程度の割引があるのでチェックインの際に確認するとよい。JICAの名前はそれほど知られていないので、協力（Cooperation；コーペラシヨ）関係者または日本大使館関係の調査団・専門家であることを告げるとよい。また、交渉すれば長期滞在者にはさらに割引きするホテルもある。

カードはVISAしか通用しないところが多い。フランスフラン（FF）と現地通貨であるセーファーフラン（CFAP）の両替は手数料なしでできる（1FF=100CFAP）。主要ホテルではフラン建てトラベラーズチェック（T/C）の両替もできる。

ホテル内は比較的安全だが、盗難には注意し、従業員も全面的には信用しないほう

が無難である。

< 邦人がよく利用する主なホテル（電話の国番号は226） >

Sofitel Silmande（ソフィテル・シルマンデ）☆☆☆☆

所在地：市北部ダムNo3北向かい、Route de Kaya（ルートゥ・ドウ・カヤ）

電 話：356005

F A X：356054

備 考：ブルキナでは最高のホテル。全室バスタブ付き6万8000セーファーフラン。

VISA、Master、American Expresse (Amex)、Diners Club (DC) などが通用する

Hotel Independance☆☆☆

所在地：市内官庁街、avenue de la resistance

電 話：306060～1

F A X：306767

備 考：シャワー付き4～4万2500セーファーフラン、バスタブ付き4万8500セーファーフラン。カードはVISA、DC、Master、Amex、Air plus。売店など付属施設は充実しているが、湯が出ないなどの苦情が聞かれる。最近は蚊が多く発生していることもあり、宿泊を見合わせる邦人関係者も少なくない。フラン建てT/C交換可

Hotel Palm Beach☆☆☆

所在地：商業地区南、avenue Kwame N'Krumah

電 話：316829、310959

F A X：316839

備 考：部屋は5タイプ、全室バスタブと冷蔵庫付き。割引でシングル3万5000～5万5000セーファーフラン程度。VISAのみ使用可。すぐ近くのavenue Houari Boumedienne通りに別館（annexe：アネックス）がある。

Hotel Nazemse☆☆☆

所在地：国連の建物の近く、avenue Maurice Bishopからrue 4.27を入ったところ

電 話：335328

F A X：310850

備 考：全80室でシングルが45室あり2万3000～2万4500セーファーフラン、ダブルは2万5500～2万7000セーファーフラン。全室エアコン、冷蔵庫付き。1等と2等の部屋があり、1等にはバスタブが付いている。2等はシャワーのみ。Amexのみ使用可。フラン建てのT/Cは利用可。プールは無料で利用できる

<その他の主要三つ星ホテル>

Hotel Relax

所在地：商業地区北、avenue Nelson Mandela

電話：313231、313233

FAX：308908

備考：シングル割引で4万程度（道路側バスタブ付き、内側シャワーのみ。全室電話、テレビ、冷蔵庫付き）。VISA、Amex使用可。ドルおよびフラン建てT/C交換可能

Hotel de la Gare (ホテル・ドゥ・ラ・ガール、元Ran Hotel：ラン・ホテル)

所在地：駅南、avenue Nelson Mandela

電話：306106～08

FAX：311547

備考：スイートは割引で3万5000セーファーフラン、シングルバスタブ付き2万5000セーファーフラン、シャワー付き2万セーファーフラン程度。VISA、DC、Amex使用可。フランスフランは少額なら交換可、フラン建てT/C支払可

Hotel OK Inn (オーケー・イン)

所在地：空港裏Patte d'Oie (パットウ・ドウワ) 地区、

Route de PU (ルート・ドゥ・ポ) から入る

電話：370020

FAX：370023

備考：シングル2万5000セーファーフラン、バンガロー（バスタブ付き）3万6000セーファーフラン～（協力関係者割引）。VISA、DC、Amexなど可

Hotel Le Splendide (ホテル・ル・スプレンドイド)

所在地：中央市庁舎Mairie Centrale (メリー・サントラル) 近く、

198, avenue Mgr Thevenoud

電話：308674、308677～78、306577

FAX：308678

備考：シャワー付き2万9800セーファーフラン、スイート（バスタブ付き）3万6000セーファーフラン～。

協力割引15%。長期滞在50%引き。VISAのみ可。室内は比較的清潔

<二つ星以下の主なホテル>

Hotel YIBI☆☆

所在地：Hotel Palm Beach近く、rue Dr. Goarnisson

電 話 : 307323、307370~71

F A X : 305900

備 考 : シャワー付き2万6500セーファーフラン。協力割引15%。

朝食2500セーファーフラン。フランス人経営

Hotel Ricardo (ホテル・リカード) ☆☆

所在地 : 市北部ダムNo2北向かい、rue 23.02

電 話 : 337072

F A X : 336048

備 考 : フランス人経営でバカンス客が多い

Central Hotel (セントラル・ホテル) ☆☆

所在地 : 中央市場の北西斜向かい。rue 3.121とrue du Marcheの角

電 話 : 308924~26

F A X : 308927

備 考 : バスタブ付き2万5000セーファーフラン

Belle Vue (ベル・ビュー) ☆☆

所在地 : Avenue Kwame N'Krumah、BICIA-B本店近く

電 話 : 308498

F A X : 300037

備 考 : 水シャワー付き1万5000セーファーフラン程度

Le Pavillon Vert (ル・パヴィヨン・ヴェール)

所在地 : Marché Sankariare (マルシェ・サンカリアル) 近く、

avenue de la liberte

電 話 : 310611

備 考 : フランス人経営

Lorie (ロリエ)

所在地 : カテドラル隣、Avenue Houari Boumedienneから入る

電 話 : 306490

備 考 : 教会経営。女性のみ。4000セーファーフラン

食事は要予約。敷地内は安全だが周辺のひとり歩きは危険

Auberge Le Samaritain (オベルジユ・ル・サマリテン)

電 話 : 332023

所在地 : カテドラル近く、rue 1.41

備 考 : 6000~8000セーファーフラン程度

3-3 住宅の探し方

最も確実なのは知人からの紹介である。一般に、不動産業者の扱う物件数は少なく情報も整備されていない。中には信頼できない業者もいる。ホテルやスーパーマーケットなどの掲示板も情報源として利用でき、また、希望条件を書いて張り紙をしてもよい。希望する地区が決まっていれば、その地区のガードマンなどから近辺の空き家状況を聞き出す方法もある。

3-4 住宅の選定上の留意点

<環境>*

隣家の居住状態（空き家でないことが望ましい）、アクセス道路の状態（特に雨期の排水状況）。

<設備>*

停電と電圧の低下（クーラーが多く使われると起こりやすい）、断水の頻度。

* 以上は近所の住人やガードマンに尋ねるのがよい。

<家屋>

老朽度、電気・水まわり・給排水設備の状態、雨漏りの有無、扉の錠前、窓の形式（防犯鉄柵、網戸）、扉の高さ。

<使用人の部屋>

専用の休憩室、シャワー、トイレがあったほうがよい。

3-5 住宅の契約

不動産業者を介する場合は契約書を3通、家主と直接契約する場合は2通作成する。フォームはだいたい定まっており、特記事項を書き加える。

支払いは家主に直接、現金または小切手で行うのが一般的である。家賃は物件次第だが、JICA専門家の場合は40～70万セーファーフラン程度が相場である。保証金（caution：コスイオン）は家賃3カ月分程度である。家賃は3～6カ月分の前払いを要求される。

家屋の修復は、入居前なら契約を条件に家主に要求することができる。入居後の補修は入居者が負担するが多いが、本来家主が負担するべきものについては契約書に明記して確認したほうがよい。

家主と不動産業者が信頼できる人物かどうか注意すること。

3-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

電気はSONABEL、水道はONEA（オネア）、電話はONATEL（オナテル）の各営業所（居住区にある）に申し込む。ゴミ収集はワガドゥグ市に申し込む。都市ガスはなく、ボ

ンベでブタンガスを購入する。支払いは、毎月各窓口で行う。請求書は手渡ししか郵送される。支払いが遅れると滞納金が課せられ、電話は発信できなくなるので、請求書がなくても長期休暇前には前月分の支払いをしたほうがよい。

SONABEL本局：avenue Nelson Mandela

所在地：place de la revolution（プラス・デウ・ラ・レヴォリュスイオン）近く

ONATEL本局：avenue Nelson Mandela

所在地：郵便局本局の先

ゴミ収集

所在地：Gounghin（グンゲン）地区に受付け

備考：ゴミは週1回、家の前の道路に出す。

廃品業者、子供、犬などがゴミをあさって散らかすので注意が必要

3-7 その他

季節、居住区にもよるが、数秒程度の停電は毎日ある。また、クーラーを多く使う季節には頻繁に数時間の停電がある。1日8時間の計画停電が行われることもある。

4. 医療

以下の記述は、執筆者が現地滞在経験に基づきまとめた一般参考情報で、必ずしも医療専門家の校閲を受けたものではありません。したがって、詳細（特に緊急時の対応や予防薬の服用方法等）については、事前に医療関係者から専門的アドバイスを受けるようにしてください。

4-1 赴任前の準備

(1) 予防接種

入国には黄熱病の予防接種が必要である。また、肝炎（A型・B型）、破傷風、狂犬病ワクチンも接種することが望ましい。髄膜炎（meningite；メナンジットウ）の予防接種も入国後に受けたほうがよい（日本では接種できない）。コレラの予防接種が効く例は4分の1程度といわれており、WHO（世界保健機構）では推奨していない。

(2) その他の準備

歯は日本で完治させるほうがよい。日本の医薬品は入手できないので、信頼できる常備薬を持参すること。当地にも下記の眼鏡店があるが、できれば眼鏡、コンタクトレンズは予備を含めて持参したほうがよい。

Cabinet optique (キャピネ・オブティック)

所在地：Hotel Indépendance内

電話：306060 (内線415)

営業：月～金8:30～12:00、15:30～18:30

4-2 医療事情

(1) 医療機関

医療水準を鑑みて、邦人が利用できるのはフランス大使館医療センター、私立総合病院と一部の開業医である。国立病院は設備・衛生状態が悪いため避けたほうがよい。邦人医師はいない。

<一般>

CMS: Centre médico-social de l'Ambassade de France

(サントル・メディコ=フランス大使館医療センター)

所在地：外務省のある大通りBoulevard du Faso (ブルバール・デュ・ファソ) 沿い、

フランス大使公邸向かい。入り口はrue 4.60

電話：306607

備考：月～金8:00～12:00、15:00～17:30、土10:00～12:00。時間以外は緊急医を紹介。状況により緊急医療の依頼も可。診察全般、マラリア検査・処置も可。予防接種は受診者がワクチンを持参する。予約は必要ない。医師3名

Clinique Notre Dame de la Paix (クリニック・ノートル・ダム・ドゥ・ラ・ペ)

所在地：ダム (barrage : バラージ) No. 3北、rue 26.01沿い。route de Kayaを北上してHotel Silmande (ホテル・シルマンデ) の先、2本目の道を左折

電話：362640、356153、357058

備考：総合病院。経営者である前々大統領の名前から、ブルキナ人にはジャン・バティスト病院と呼ばれる。緊急患者は随時受付ける。入院可能で病室は清潔だが外国人には必要以上に入院をすすめる傾向があり疑問に思われることもある

<歯科>

ブラジル人医師

所在地：Lycee St.-Exupery向かい、rue J.Badoua

Dr.Kyelem V.

所在地：Zone du Bois

電話：301006

<検査>

Pharmacie Diawara (ファルマスィ・ジャワラ)

所在地：中央市場南、avenue P.Lamumba

電 話：313056、306168

F A X：310238

備 考：マラリア検査結果は採血後30分に出る

Polyclinique NINA (ポリクリニック・ニナ)

所在地：Boulevard Charles de Gaoulle

電 話：363381

備 考：エコグラフ、レントゲンなど

CNLP: Centre National de Lutte contre le Paludisme

(サントル・ナスイオナル・ドウ・リュットウ・コントウル・ル・パリュディズム：国立マラリア対策センター)

所在地：avenue d'Oubritenga沿い、Gendarmerie nationaleと国立病院Hopital Yalgado Ouedraogoの間

電 話：324695～6

備 考：マラリア研究所。検査および蚊帳の防虫処理ができる。マラリア検査の採血は7:00～10:00、結果は当日16:00以降

Laboratoire d'Analyses Medicales de Centre

(ラボラトワール・ダナリス・メディカル・デュ・サントル)

所在地：avenue Houari Boumedienneからrue 4.29に少し入る、Hotel Nazemseの近く

電 話：313557

備 考：各種血液検査、マラリア検査、尿検査・便検査が可能。7:00～24:00、無休

<獣医>

Clinique Veterinaire

電 話：324657

備 考：月～土7:00～12:00、15:00～17:00、日8:00～10:00

Sophavet

電 話：362189

備 考：8:00～12:30、15:30～18:00

(2) 緊急時の対応と措置

救急病院は前述のClinique Notre Dame de la Paixである。フランス大使館医療

センターに連絡してもよい。

救急車呼び出し番号……306643～5

手術や専門医の診断が必要な場合は象牙海岸のPISAM（ピザム）かフランスのアメリカン・ホスピタルに緊急移送したほうがよい。Europe Assistance（ヨーロッパアシスタンス）の契約者はRapatriement Sanitaire（本国またはパリ送還）のサービスを受けることができる。

ワガドゥグと第2の都市Bobo-Dioulasso以外の医療施設は貧弱である。フライングドクターはいない。

4-3 医薬品など

(1) 携行することが望ましい医薬品

常備薬、持病の治療薬、バンドエイド、虫除けスプレー、体温計、アイスノンなど。

(2) 任国で調達できる医薬品

ワガドゥグ市内には薬局は多く、夜間や休日でも当番制でいくつかの薬局が営業している（年間割り当ては薬局のカレンダーに表記）。マラリア予防薬は処方せんなしでも購入可能である。品揃えのよい薬局は次のとおりである。

Pharmacie de l'Indépendance（ファルマシー・ドゥ・ランデパンダンス）

所在地：Hotel Indépendance隣、avenue de la résistance

Pharmacie de Diawara（ジャワラ）

所在地：中央市場Marché Central南、avenue P.Lumumba

電話：313056、306168

FAX：310238

Pharmacie de l'Hopital Yalgado

所在地：国立病院Hopital Yalgado隣、avenue d'Oubritenga

電話：306641

備考：店頭がないものは1～2週間でフランスから取り寄せてくれる

(3) 任国で調達できる衛生用品

生理用品、包帯、ガーゼ、避妊具など。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

医薬分業制であり、基本的に医薬品は処方せんを提示して薬局で購入する。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

異常分娩などの対応には不安がある。フランス大使館医療センターでは妊娠期の検診はできるが出産は不可能である。

(2) 出産後の対応

母子検診や乳幼児の予防接種は可能である。予防接種はフランス式で、ポリオを含む5種混合、ROR（おたふくカゼ、風疹、麻疹）、BCGを接種する。

(3) 育児

哺乳瓶、おむつ、粉ミルク、離乳食、ベビーパウダー、ベビー石鹸はフランス製品が各種ある。ガーゼハンカチ、離乳食用食器は携行すること。乳幼児衣類は当国でも販売しているが高価である。

4-5 手術

(1) 任国で可能な手術

当国の医療レベルを鑑みて、手術は避けたほうがよい。

(2) 手術設備の状況

該当情報なし。

(3) その他の留意点

該当情報なし。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

下痢、カゼ、皮膚病など。

(2) 風土病・伝染病

ワガドゥグでも地方でも最もかかりやすい風土病はマラリアである。マラリア予防薬の服用については医師らの意見が一致しないが、一般に短期滞在者は服用したほうがよいといわれている。長期滞在者については、蚊の発生しやすい雨期（6～10月）のクロロキン服用を当地の医師らはすすめている。

(3) 有害動物、病害虫

マラリア対策として、蚊に刺されないことが重要である。就寝時に蚊帳を吊るのが最も効果的で、さらにエアコンをつけておくと蚊の活動がにぶる。

地方にはヘビ、サソリがいるが、ワガドゥグではまず心配ない。

身体に影響はないが、シロアリで木材や電気配線を傷めないよう注意すること。殺虫剤は入手できる。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

ワガドゥグの水道水は十分消毒してあると考えられるが、しばしば泥で茶色く濁ることがある。したがって、飲用には濾過、煮沸したほうが無難である。ミネラルウォーターは数種類販売されており、国産のLafiは軟水で飲みやすい。農村訪問をする際、浅井戸や水たまりの水は避けること。深井戸の水は比較的安全であるが、やむを得ない場合を除き飲用は避けたほうがよい。

(2) 濾過器の入手

CACIおよび周辺の出店、Marina Marketなどで購入できる。

(3) 蚊帳、防虫ネットの入手

蚊帳はシングルベッド用、ダブルベッド用がboulevard Charles de Gaulleのワガドゥグ大学向かい、avenue d'OubritengaのHopital Yalgado付近の道沿いなどで売られている。

国立マラリア対策センター（P. 19参照）では蚊帳の防虫剤塗布を1500セーファーフランで行っており、洗わなければ6カ月間有効である。

防虫ネットは日用雑貨販売店で入手できる。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

5. 教育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

フランス系学校の小・中・高校（普通）は、それぞれ6・4・3年制で、アメリカンスクール（インターナショナルスクール）はgrade 1～12となる。学期始まりは9月である。大学はワガドゥグにひとつある。

(2) 日本人学校

日本人学校、補習校はない。

(3) 現地校、外国人学校

現地校については該当情報なし。

フランス系学校、アメリカンスクールは次のとおりである。

Ecole Saint-Exupery (エコール・サンテグジュペリ)

所在地：Boulevard de la revolutionからFESPASCO (フェスパコ) 事務所脇の道rue 4.23
に入る

電 話：332440

備 考：フランス系。幼稚園3年制と小学部5年制。生徒数は全体で440名 (95/96)

Lycee Saint-Exupery

所在地：rue J.Badoua、ドイツ大使館並び

郵 便：01 B. P. 1478 Ouagadougou 01

電 話：312763

F A X：310143

備 考：フランス系。中学4年制と高校3年制。生徒数は347名 (95/96)

ISO: International School of Ouagadougou

(イソ：インターナショナルスクール・オブ・ワガドゥグ)

所在地：ZOGONA地区、rue 13.22

郵 便：01 B. P. 35 Ouagadougou 01

電 話：362143

F A X：362228

備 考：アメリカン・スクール。幼稚園から高校まで。生徒数は約140名

(4) 幼稚園

前述のEcole Saint-Exupery (3歳児～)、ISO (3歳児～) の幼稚園部のほか、次の幼稚園がある。

Jardin d'enfants Les Lutins (ジャルダン・ダンファン・レ・リュタン)

所在地：ZOGONA地区、市場Marche de Zogona近く、rue 13.09

電 話：300186

備 考：2歳児以上

Ecole BAMBI (エコール・バンビ)

所在地：GOUNGHIN Sud (シュッドウ) =Secteur 8

電 話：340543

備 考：2歳児以上

5-2 入学手続きおよび授業料

(1) 日本人学校

なし。

(2) 現地校、外国人学校

Ecole Saint-Exupery

授業料：小学部は年間104万7000セーファーフラン (99/00年)

Lycee Saint-Exupery

授業料：中学部123万9000セーファーフラン、高校部140万4000セーファーフラン (99/00年)

ISO

寄付金：一律1000USドル

年間授業料

Grades 1~2	8500USドル
Grades 3~4	9125USドル
Grades 5~9	9450USドル
Grades 10~12	9800USドル

(3) 幼稚園

Ecole Saint-Exupery

年間授業料：90万9000セーファーフラン (99/00年)

ISO

寄付金：幼稚園のみ1000USドル

年間授業料

Pre-School 3 and 4 (3、4歳)	2850USドル
Kindergarten (幼稚園)	7220USドル

Ecole BAMBI

授業料：月4万セーファーフラン

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

Centre Culturel FranAais

(サントル・キュルチュール・フランセ：フランス文化センター)

所在地：Avenue Nelson Mandela、Place de la revolution近く

備考：旅券と証明写真1枚を持参すると会員証が発行され、貸り出しできる(1冊2週間)。年間会員料は大人7000セーファーフラン、子供1000セーファーフラン

(2) スポーツ施設

特にない。

(3) その他

アメリカン・ランゲージ・スクールなどがある (P. 37～「10-3 語学学習」参照)。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

フランス語家庭教師は、ワガドゥグ大学生などから比較的容易に見つけれられる。

(2) 通信教育

海外子女教育振興財団が行っている海外向けの通信教育がある。小学校、中学校の国語、数学、理科、社会などが受けられる。詳細は直接問い合わせるとよい。

海外子女教育振興財団 (ホームページ: <http://www.joes.or.jp>)

東京本部

所在地: 〒105-0000 東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル6階

電話: 03-3580-2521 (代表)、03-3580-2827 (通信教育課)

FAX: 03-3503-7238

E-mail: joes1@netforward.or.jp

関西分室

所在地: 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

電話: 06-6344-4318

FAX: 06-6344-4328

(3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

家庭用学習教材はすべて携行したほうがよい。日本の小中学校の教科書は在象牙海岸日本大使館から配布される。大使館には在留届を必ず出すこと。

6. 家庭の使用人

6-1 一般事情

家政婦／夫、子守、ガードマン (兼庭師)、運転手などの職種がある。家政婦／夫に子守を兼任させたり、ガードマンにプール管理を任せるとも可能である。いずれも知人の紹介で探すのが最も確実である。

使用人の雇用に関しては後述のような法律があり、当局への届け出、社会保険料の支払いも義務づけられている (使用人が社会保険料分を給料として受け取ることを希望する場合もある)。

裁判などのトラブルを避けるためにも、契約書を作成して労働条件を細かく決めて

おいたほうがよい。明らかな過失がない限り使用人の解雇は難しいので、雇用に際して試用期間を設けたほうがよい。

最低賃金は職種・経験により定められているが、外国人が雇用する場合の相場はこれより高い。

家庭使用人の雇用に関する主な規定（フランス協力省作成「Livret du Cooperant 1996年版」より抜粋）

<試用期間>

1カ月。さらに1カ月更新可能。

<労働時間>

拘束時間（昼休みなどを含む）は1週間で60時間。これ以上の勤務に対しては、THB（基本時給＝月給／173.33）に次に示す額を上乗せする。

超勤8時間まで：+10%

超勤9時間以上：+35%

平日夜間（22時から5時）：+50%

日曜・祝日：+60%

日曜・祝日の夜間：+120%

<勤続手当>

3年目以降から支払う（金額は該当情報なし）。

<病欠>

72時間以内に雇用者に連絡し、6日以内に医師診断書を提出する。病欠の間、雇用者は次のように給料を支払う。

勤続1年以内：初めの1カ月は月給の全額、2カ月めは半額

勤続1～5年：初めの1カ月は月給の全額、その後3カ月間は半額

勤続5年以上：初めの2カ月は月給の全額、その後3カ月間は半額

<冠婚葬祭>

6カ月以上勤務した人は、家族にかかわる行事の際に有給休暇とは別に年間10日まで休みが取れる。

被雇用者本人の結婚、子供の誕生：3日

配偶者、直系の子孫・先祖、義父・義母の死亡：2日

子供、兄弟の結婚：2日

<有給休暇>

1年間就業以降、1カ月当たり2日半の有給休暇を取れる。1年以内に雇用関係が

終了した場合は「月給×勤続月数÷12」に相当する報償金を支払う。雇用者が2か月程度の休暇を取る場合、慣習として2か月分の給与を前払いする。

使用人は1か月を有給休暇とし、残り1か月は家の管理を行う（通常より作業は少ない）。

<解雇>

解雇は1か月前に使用人に文書で知らせて理由を明らかにする。使用人にあてた文書のコピーを労働検査官（Inspection du travail）に提出する。予告後1か月は使用人は再就職のために8日間の有給休暇を取れる。雇用終了時に労働証明書を作成して給与レベル（後述）を示す。1年以上勤務した人には報奨金を払う。ただし使用人に重大な過失があった場合は払わなくてもよい。

<報奨金額>

解雇前12か月の平均月給×係数×勤続年数。係数は次のとおりである。

勤続5年以内：25%

勤続6～10年：30%

勤続10年以上：40%

例）月給5万セーファーフラン、勤続年数6年6カ月の場合

$$(5万 \times 25\% \times 5) + (5万 \times 30\% \times 1.5) = 8万5000セーファーフラン$$

<社会保障>

雇用開始から7日以内に雇用者はCaisse Nationale de Securite Sociale (CNSS : ケース・ナスイオナル・ドウ・セキユリテ・ソシアル：社会保障公庫) に届け出て、四半期ごとに社会保険料を支払う義務がある。社会保険料は月給の23%に相当し、雇用者が18.5%、被雇用者が4.5%を負担する。

<各使用人給与>

家政婦／夫経験18か月未満……2万5799セーファーフラン

家政婦／夫経験18か月以上……2万6753セーファーフラン

警備員……2万6753セーファーフラン

庭師、料理人補助、洗濯、夜間警備員（経験18か月以上）……2万7709セーファーフラン

8人以下の家の料理人・管理人……2万8665セーファーフラン

8人以上の家の料理人・管理人（経験3年以上）……3万573セーファーフラン

経験豊富な料理人・管理人（各種料理可）……3万3442セーファーフラン

上級料理人（レセプション運営可）……3万8636セーファーフラン

ホテル長、主任料理人……4万8478セーファーフラン

6-2 運転手

(1) 雇用

個人で運転手を雇用している外国人は多くないが、事故発生の際を考えると雇用するのが無難である。知人から紹介してもらうのが最も確実である。試用期間を設けて運転マナー、整備の知識をチェックするとよい。

特殊技能者であるので、給与は最低7万セーファーフランからである。夜間まで延長すれば500～1000セーファーフラン、22:00以降になればさらに500～1000セーファーフラン程度のチップ（超勤手当）が必要である。

フランス語はある程度話せるが書けない人が多い。

(2) 日常管理

出勤時間はきちんと守る人が多い。食事会や残業で勤務時間が不規則になる場合は、運転手の食事時間を考慮して休憩時間を明確に告げること。

日常の保守点検、洗車は運転手が行う。経験のある運転手なら燃料補充、オイル交換、定期点検の時期を知らせてくれる。維持管理・ガソリン代の支払いは自分で行うほうが無難だが、運転手を信頼できるようになったら必要な金額を渡して領収書を取らせてもよい（ブルキナ・ファソでは偽の領収書は作りにくい）。

(3) 教育指導

一般に、スピードの出し過ぎ、信号無視、急な進路変更などをする傾向がある。運転で気になる点があれば、その都度注意したほうがよい。

(4) その他の留意点

前述のとおり、フランス語の読み書きができない人もいたので、看板などを目印に目的地を探す場合は注意が必要である。

6-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

家政婦／夫は掃除、洗濯、皿洗い、料理、買い物などを行う。仕事の量によっては2名必要になることもある。

通常、ベビーシッターは家政婦／夫とは別に雇用する。ベビーシッターは知人の紹介などにより見つけやすい。一般に、ブルキナ・ファソの女性は子供の扱いには慣れているが衛生観念が違うので、食品やベビー用品の扱いを任せるときには注意が必要である。外国人家庭での勤務経験者が望ましい。

(2) 雇用

知人の紹介によるのが最も確実である。また、経験者が望ましい。試用期間を設け

てから正式雇用したほうがよい。

当国の法律ではHIV感染者であることを理由に不採用にしたり解雇することはできない。HIV検査も簡単には受けられない。

(3) 日常管理

経験の浅い家政婦／夫は電気・調理器具の扱い方を知らないなので、初めは細かく指示すること。また、衛生概念が違うので注意が必要である。

6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

<雇用>

ガードマンは不可欠である。知人の紹介などで個人的に雇うケースが多い。警備会社なら最大手のBBS（ベー・ペー・エス）電話：318053）が信頼できる。

7. 交通事情

7-1 交通手段

(1) 一般事情

首都ではタクシー、ハイヤー、バスがある。都市間の移動には長距離バスが一般的である。鉄道は1路線のみ。国内航空はワガドゥグ～ボボ・デュラッソ間のみである。

ワガドゥグのタクシーには次の3種類がある。

<メーター付き>

黄色い車体。主要ホテルで客待ち。台数は少ない。

<メーターなし>

車種、色はさまざま。空港、駅、ホテルなどで客待ち。値段は交渉による。

<乗合タクシー>

黄緑色。運行経路はだいたい定まっているが多少迂回して目的地まで乗せる。料金は距離によるが（150～400セーファーフラン程度）、外国人には多少高めに請求。

庶民も利用しており混み合う。まれに強盗を働く運転手もいるので要注意。次の会社のメーター付きタクシーは電話呼び出しのハイヤーにもなる。

Taxi Radio（タクシー・ラディオ）

電 話：343838

備 考：保有台数が多く、待ち時間は遅くとも15分程度

STMB (エス・テー・エム・ベー)

電話：308990

備考：冷房付き。他社より少し安い。台数が少なく待ち時間は長い。

Taxi Urbain (タクシー・ユルベン)

電話：343636

所在地：台数は少ない

ワガドゥグ市内バスは5路線ある。混雑しており、外国人の利用はまれである。

(2) 自家用車を利用する場合

運転時は、免許証、certificat de visite technique (セルティフィカ・ドゥ・ビズィットゥ・テクニク；車検に相当)、carte jaune (カルト・ジョーヌ)、police d'assurances (保険証) を携帯すること。

ワガドゥグ市内はバイクと自転車が非常に多く、歩行者も含めて交通法規は守られていない。また、車両、バイクは方向指示器をあまり出さず、信号の変わり目では赤信号でも右左折することが多いので運転には細心の注意が必要である。

車両は右側通行だが、自転車が左折するときはバイクと同様に道の中央に出てきて道路を横断するように曲がる。車が右折する際、ウィンカーを点滅させていても直進するバイク・自転車は減速、停止しようとしないので、これらが通過するまで待たなくてはならない。

整備不良のため、夜間に照明をつけないバイク・自転車、片側だけヘッドライトをつけて走る車両が多い。

大統領官邸 Presidence (プレシダンス) と Conseil de l'Entente (コンセイユ・ドゥ・ランタントゥ) 前は停車が禁止されている。

(3) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは、電話やファクスで予約すれば空港、ホテルなどまで出迎えてくれる。詳細は前日か当日に再確認したほうがよい。ただし割高で、四輪駆動車で1日8万セーファーフラン程度必要である。

主なレンタカー会社は次のとおりである。

AVIS (アヴィス)

所在地：avenue P. Lumumba、中央市場南並び、CICA内

電話：332159、306159～63

FAX：306164

Burkina Auto Location (ブルキナ・オート・ロカシオン)

所在地：Hotel Independance内

電話：306811、306461

Express Auto Location (エクスプレス・オート・ロカシオン)

電話：306106

(4) 道路地図

ワガドゥグ市、ボボ・デュラッソ市がそれぞれ発行した市内図「Plan de la Ville de Ouagadougou」、「Plan de la ville de Bobo-Dioulasso」にはすべての道路名が記載されている。全国の主要道路はIGB (ブルキナ国土地理院) 発行の100万分の1の地図で確認できる。

いずれもホテル売店、書籍コーナーのある大手文房具店で入手可能であるが、品切れの場合が多い。次のIGB (ブルキナ国土地理院) 内でも購入可能である。

IGB: Institut Géographique du Burkina

(イジベ：アンスティテユ・ジオグラフィック・デュ・ブルキナ)

所在地：boulevard de la revolution沿い、avenue Alwata (アルワタ) の角

電話：313351

FAX：324827

7-2 交通事故

(1) 対処方法

事故の際は警察か憲兵隊に通報する。ワガドゥグでは中央警察署 Commissariat Central (コミッサリア・サントゥラル 電話：306382) か憲兵隊 (電話：306271、332138) へ通報する。

救急車はpompier (ポンピエ 電話：18) を呼び出す。事故にかかわる車は現場検証が終わるまで動かさないこと。

(2) 救急病院

Clinique Notre Dame de la Paix

所在地：Hotel Silmandeの北側、rue 25.01沿い

電話：362640～4

(3) 盗難

速やかに警察に届けるが、協力関係者の場合は関係省庁のカウンターパートなどに同行してもらったほうがよい。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車両は右側通行である。主要な交差点ではロータリーと信号が併設されている。

(2) 対処方法

警官は必要に応じて交通整理をするだけで、運転マナーを監視して罰金を請求することはほとんどない。偽警官（私服）もいるので、相手の身分をよく確認すること。

7-4 車の修理

(1) 部品

日本で当地代理店で購入した車（トヨタ、日産、三菱、プジョー、ルノー、メルセデス・ベンツなど）の部品は入手できる。

主な代理店、修理工場は次のとおりである。

CICA（プジョー、トヨタ）

所在地：中央市場西。代理店はavenue P.Lumumba、修理工場はrue J.Badoua沿い

電話：306159～63

SEA（メルセデス、日産）

所在地：Gounghin地区、rue Fronzier沿い

電話：302792（修理点検303216）

Diacfa Auto（ディアクファ・オート）（三菱など）

所在地：中央市場北。代理店はavenue Nelson Mandela、整備工場はrue Urbain Yameogo沿い

(2) 修理工場

各代理店に隣接している修理工場は信頼できる。簡単な整備なら一部のガソリンスタンドでもできる。当国で販売されていない車両の複雑な修理はできない。

8. 通信

8-1 電話

(1) 一般事情

普及率は低く、政府機関でも回線数が少ないためつながらないことが多い。公衆電話はカードまたはコインで使用できる。

1998年に多くの電話番号が変更になり、最新の電話帳でも対応できていない（1999年現在）。変更後の電話番号は電話番号案内（電話：12）で確認できる。

(2) 国内電話

回線の新規設置は各地区のONATELで申し込む。設置まで3週間程度待たされる。

(3) 国際電話

00+国コード(日本の場合81)+国内番号(局番の最初の0を除く)で発信できる。ブルキナ・ファソの国コードは226である。

(4) 携帯電話

ONATEL本局(Avenue Nelson Mandela)か代理店に申し込む。携帯電話にONATELが支給するチップを入れて使用する。接続状況はワガドゥグ市内でもあまり良好ではない。日本の機種でも欧州仕様の物であれば使用可能である。また、当地でも日本製の機種が入手できる。

電話機本体は25~30万セーファーフランと高価である。申し込み時の契約金5万セーファーフラン、月々の基本料金1万セーファーフランに加え、使用料が180セーファーフラン/minかかる。

割高ではあるが最長3カ月のレンタルサービスもある。

HACOM(代理店)

所在地: avenue Houari Boumedienne沿い、中華酒楼の正面

電話: 315858

FAX: 312121

備考: 電話機購入のほか、手続きの一切を行う。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

電話と同じ番号で使用できる。本来はONATELに電話/FAX兼用の申請をするべきであるが(料金は割り増し)、電話の申請だけでも利用は可能である。ただし、電話機とファクシミリではモジュラーの形式が若干異なるので、ファクシミリも使用できる物かどうか確認する必要がある。

料金は高めだが、主要ホテルのビジネスセンターからも送信できる。中でもHotel Silimandelは比較的安い。

(2) テレックス

該当情報なし。

(3) 電報

該当情報なし。

(4) インターネット

Fasonet (ファソネット) が唯一のプロバイダである。利用はONATEL本局に申し込む。接続にはファクシミリと同様のモジュラーが必要である。モジュラーは市場で購入できる。アカウント取得には本人名義の電話番号か電話番号所有者の使用許可証が必要である。

アナログ通信が主流で最高速度は3万3600bpsであるが、接続状況はあまりよくない。

料金は従量制で、6136セーフターフラン+18セーフターフラン/min、10時間まで定額のコースは1万30セーフターフラン+12セーフターフラン/min、時間無制限のコースは1万7700セーフターフラン/minである。これに入会金と電話代が加算される。

また、日本で大会可能なプロバイダ (AOL、KDDなど) のアクセスポイントがある。ローミングサービス (プロバイダ同士でお互いのアクセスポイントの使用をお互いの会員に認めるサービス) は提供されていない。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便局は各地区にあるが、本局・支局間の連絡が悪いため、発送は本局を利用したほうがよい。主要ホテルの郵便箱を利用する方法もある。

宅配制度はないので、職場やホテル以外で郵便を受け取るには私書箱を設置する必要がある。申請は最寄りの郵便局で行うが、他地区の郵便局でも受け付けることがある。設置には年間登録料がかかる。私書箱の数が不足しているため、申請してから設置までは数カ月待たされることになる。

封書などは私書箱、小包みは各局の窓口、大型荷物は本局の預かり所で受け取る。小包み、大型荷物については、まず案内が郵送される。旅券などの身分証明書を持参して保管料を支払って引き取る。その際、開封を要求されることが多い。

(2) 課税

同一の物品が多量にあると課税対象となりやすい。私用品であることを正確に申請すること。また、当国で販売可能な物は課税対象となる。特にコンピュータなどの電化製品は規制が厳しい。そのほかの物品でも新品は課税対象となりやすい。

(3) 民間サービス業者

書類などの発送を扱う業者は次のとおりである。

DHL (デー・アッシュ・エル)

所在地: Avenue de la resisistance du 17 mai, Hotel Independance南、空港寄り

電 話：335171、311947

備 考：主要ホテルからも発送可能

EMS (ウー・エム・エス)

所在地：Avenue de la resistance du 17 mai沿い、空港脇、

Avenue de Loudunの南端

電 話：306422、308330

備 考：信頼性、迅速性はDHLより若干劣るが、象牙海岸など近隣諸国には割安

Jet Service

電 話：340009

9. マスコミ

9-1 新聞

(1) 主な日刊紙

日刊紙には『Le Pays』、『Sidwaya』、『Observateur Paalga』、『Le Journal du Soir』(夕刊)がある。週刊紙には『L'Independant』(火曜発売、最も反体制的)、『Le Journal du Jeudi』(木曜発売)などがある。いずれもフランス語である。

『Le Pays』は定期購読できるが、販売所まで取りに行くことになる。

(2) 本邦日刊紙

該当情報なし。

(3) 欧米紙

ホテルの売店などで1～3日前の『New York Times』、『Le Monde』、『Figaro』などを購入できる。定期購読の情報はない。

9-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

主なラジオ局はRadio Burkina、Radio Horizon FM (104.4Hz)、Radio Energie (103.4Hz)、Radio Arc-En Ciel (96.6Hz)、RFI (94.0Hz)、AFRICA No. 1 (90.3Hz)である。

(2) ラジオジャパン

受信状態は良好である。

NHK国際局編成部

所在地：〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話：03-3465-1111

番組表を含む情報提供サービス：<http://www.nhk.or.jp/rjnet/index-j.html>

日本語放送の周波数表Fax Service：03-5454-0888 情報番号260

(3) 聴取可能なその他の外国放送

該当情報なし。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

国营放送TNB (Television Nationale Burkinabe) がある。

(2) テレビ受信

SECAM方式である。前述のTNBは屋外アンテナなしで受信できる。パラボラアンテナを取り付ければTV5、CFI、CNNを受信できる。

(3) ライセンス料金など

該当情報なし。

(4) その他

テレビ番組案内の月刊誌『Cin d'Oeil (クラン・ドゥユ)』がある。

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

冷房のあるワガドゥグの映画館は次のとおりである。

Cine Burkina (シネ・ブルキナ)

所在地：Avenue de Loudun

Cine Neerwaya (シネ・ネルワヤ)

所在地：Cite An III、Avenue Capitaine Niande Ouedraogo (キャピテン・ニアンドウ・ウエドラオゴ)

電話：317272

Centre Culturel FranAals (サントウル・キュルチュレル・フランセ)

所在地：Avenue Nelson Mandela、SONABEL近く

(2) 劇場

Atelier the, tre de Ouaga (アトリエ・テアートゥル・ドウ・ワガ)

電 話 : 306969

10-2 出版、書籍

(1) 一般事情

主な定期刊行物はCNRST (国立科学技術研究センター) 発行の『EUREKA』である。

(2) 書店

扱っているのはほとんどがフランスの出版物である。日本書籍は購入できない。
主な書店は次のとおりである。

Diacfa Librairie (ディアクファ・リブレリー)

所在地 : Rue du Marche、中央市場北向かい

電 話 : 306547

営 業 : 月~金8:00~12:30、15:30~18:30、土9:30~12:30

Librairie Jeunesse d'Afrique (リブレリー・ジュネス・ダフリック)

所在地 : Avenue Houari Boumedienne、カセドラル近く

電 話 : 333625

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

Centre Culturel Americain (サントゥル・キュルチュレル・アメリカン)

所在地 : Avenue Nelson MandelaとRue de la Chance (シヨンス)の角

電 話 : 307013、306330 (英語講座専用)

備 考 : ビデオ貸し出し、映画上映も行う

Centre Culturel Arabe Lybien

(サントゥル・キュルチュレル・アラブ・リビアン)

所在地 : Avenue Kwane N'Krumah

電 話 : 307126、307634

備 考 : アラブ語講座、図書館、ビデオ、文化講座など

(2) 家庭教師

フランス語教師は、教諭、大卒者、大学生から比較的容易に見つかる。ただし、教授法を習得した人はまれである。英語教師もブルキナ人の中から見つけられる。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

隔年でアフリカ映画祭と国際見本市が開催されている。

<アフリカ映画祭FESPACO>

奇数年の2月末～3月初旬、10日間程度開催される（毎年開催する計画もある）。

市内数か所の映画館でアフリカ映画の新作と過去の受賞作を連日上映する。

<国際見本市SIAO>

偶数年の11月頃開催。参加国はアフリカ諸国。会場は市内東部、環状道路沿い。

ワガドゥグ市内の博物館に特筆すべきものはない。

(2) 日本友好協会などの有無と活動内容

該当情報なし。

(3) その他の文化活動、文化施設

該当情報なし。

10-5 写真、ビデオ

(1) 写真

フジ、コダック、コニカなどのフィルムが市販されている。ワガドゥグ市内のスタジオでは現像、証明写真撮影ができる。カメラ用電池は特殊な物でなければ写真スタジオ、スーパーマーケットで入手可能である。

現像・焼付技術はあまりかんばしくないが、韓国人経営の店では比較的良好である。短期滞在者であれば、帰国してから現像・焼付することをすすめる。

Lotte Photo couleur (ロッテ・フォト・クルール)

所在地：Avenue Yennengaとrue 4.36の交差点

電話：308857

備考：韓国人経営の写真店。24枚撮りネガフィルム現像・焼付で4100セーファーフラン

Africa Photo

所在地：Avenue Houari Boumedienne沿い、rue de la Mosqueeとrue de la Chanceの間

電話：306324

備考：ポジフィルムの現像専門。24枚撮り現像のみ4850セーファーフラン、スライド150セーファーフラン/unite、焼付は9×13版500セーファーフラン/unite、10×15版800セーファーフラン/unite。月・木に受け付け

(2) ビデオセット

ビデオやテレビはフランスと同じSECAM方式である。SECAMとPALのマルチビデオも

入手可能だが、日本で3倍速録画したテープの再生画像は劣悪である。高価ではあるが、NTSC 3.58、4.43、SECAM B/G、D/K対応のビデオデッキ（30万～42万セーファーフラン、当地で購入可能）ならば再生は可能である。レンタルビデオショップは少ないが、rue de Palestine沿い、Hotel Belle vue近くにある。

Lavson（ラブソン、ビデオデッキ販売店）

所在地：Avenue Yennenga

備考：ラジカセ、鍵盤楽器も販売。隣は修理店

(3) 各種テープ

日本から送付されたビデオテープは、ほかの物品同様、新品が多量にあると課税される可能性がある。自家用であることを強調するとよい。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

(1) 音楽会、コンサート

Centre Culturel FranAalsでジャズなどを演奏している。

(2) コーラス、演奏グループ

該当情報なし。

(3) ピアノなど

販売店はないので、当地で購入するのであれば帰国する外国人から買うしかない。

(4) CD、レコードなど

ミュージックテープが主である。中央市場周辺の出店で販売している。

(5) 民族楽器

コーラ（弦楽器）、太鼓類がある。

(6) その他の楽器

該当情報なし。

10-7 手芸、絵画、美術工芸など

(1) 手芸

該当情報なし。

(2) 絵画、美術工芸

土産物はワガドゥグ市内各所で販売している。

Centre National d'Artisanat d'Art

（サントウル・ナスィオナル・ダルティザナ・ダール）

所在地：Avenue Dimdolosom、Place des Nations Unies北

備考：公営土産物店で定価販売。月～金8:00～12:00、16:00～18:00

上記のほか、Hotel Independance前、Avenue Nelson Mandela沿い、Hotel Relax裏、rue 3.42、中央市場などでも販売している。

10-8 趣味

(1) 園芸

主な苗木の販売所は市北部のダムBarrageNo3周辺、CNSP（セー・エヌ・エス・エフ：国立樹木種子センター）、Route de Kayaなどである。

(2) 釣り

川、池で釣りはできるが、主だった釣り場はない。釣り用品店はないので、釣り具の調達は当地の人に頼むのがよい。

10-9 娯楽、遊戯など

(1) 娯楽、遊戯、ゲーム

Hotel Independanceにカジノがある。

(2) レジャーランド、遊園地

Faso Parc (ファソ・パーク)

所在地：市の北東部、Route de Kaya沿い、

保存林Foret Classe du Barrage (フォレ・クラッセ・デュ・バラージュ)の一角

備考：児童遊園地。ゴーカート、電車、バイク、メリーゴーランド、トランポリン、モーターボート、ゲームセンター、売店がある。入園料100セーファーフラン、乗り物1回250~300セーファーフラン

10-10 スポーツ

(1) テニス

テニスコートはHotel Silmande、Hotel Independance、ISO、Club SONABEL (クリュブ・ソナベル、rue 12.83、Dapoya地区)、Tennis Club de l'ASECNA (アセクナ 電話：310006) などにある。用具やウェアは日本から持参したほうがよい。

(2) 水泳

二つ星以上のホテルにはたいていプールがある。使用料は大人1日1000~2500セーファーフラン程度である。その他、インターナショナルスクールやClub SONABELにもプールがある。

(3) その他のスポーツ、用具、ウェア

ワガドゥグには柔道クラブがいくつかあり、連盟もある。

柔道連盟 (連絡先)

事務局長：KERE Gourounga (ケレ・グルンガ) 氏

電 話：324788～90（内線405/407、青年スポーツ省）

所在地：Boulevard de la revolution北側合同庁舎

柔道場

所在地：Camp Militaire（キャンプ・ミリテール）内、

Place du 2 Octobre（プラス・デュ・ドゥー・オクトーブル）北向かい

(4) スポーツクラブなど

<乗馬>

Club de l'Etrier Burkinabe

所在地：Route de KayaとRoute de Fadaの交差点付近

電 話：300165

Club Polo Nonyougo

所在地：Route de PU、ワカドゥグ南方15km

Cheval Mandingue

所在地：Route de Bobo

電 話：303500

<体操>

Super GYM Club

所在地：rue Ur bain Yameogo、中央市場東向かい、喫茶・レストランGourmandise下

電 話：310212

ABCS

所在地：Gounghin地区のPetit Paris（プティ・パリ）

Centre Culturel FranAais

電 話：306097

<その他>

Football Amicale Los margouillats

電 話：363002

Rugby Le Pihanou（ラグビー）

電 話：313376

ISO（スカッシュ）

電 話：367326

Centre Culturel FranAais（ヨガ）

電 話：306097

Pâtisserie-Koulouba (ベタンク)

電話：307717

Club de moto (モトクロス)

所在地：ワガドゥグから南15km、Route de PU

その他、Centre culturel Français (ダンス) などもある。

10-11 子供の遊び

学校、幼稚園は滑り台などの遊具が整っている。

玩具は、Marina Market、CICA、NIVEA (専門店、Avenue Yennengas Lotte Photo Couleurの斜め向かい。電話/FAX：318748)などで購入できる。

子供用自転車はワガドゥグ市内の路上で販売している。

CISSE Safif (シセ・サリフ) の店

所在地：rue de la Chance、薬局Pharmacie Diawara近く

11. その他のサービス

11-1 金融機関

現地通貨は西アフリカ共通のセーファーフランで、1フランスフラン=100セーファーフランの固定レートである。通常、フランスフランは手数料なしで交換できる。T/Cもフラン建てにしたほうが便利で、主要銀行の支店でも交換できる。円建てT/Cは交換できないこともある。CITY BANK (CITICORP) のT/Cは主要銀行では扱われていない。

通常、銀行の営業時間は月～金の午前と午後であるが、祝日の前日やイベント期間中はjournée continue (ジュールネ・コンティニュ) といって、営業は朝から昼休みなしに14:00頃までとなるので注意すること。

口座開設には旅券と写真 (同じ物2、3枚) が必要である。住所、連絡先を登録するが、短期滞在者でもホテルを住所にすれば開設可能である。銀行口座に対して3カ月ごとに5000～6000セーファーフランの税金がかかる。閉鎖の際は5000セーファーフラン程度手数料を取られる。

毎月の出入金明細書 (Releve de compte) と入金通知は送付される。残高などをすぐに知りたい場合は専用窓口で確認できる。

小切手は申請から2週間程度で発行される (窓口まで取りに行く)。

主な銀行は次のとおりである。

BIB (ベー・イー・ペー : Banque Internationale du Burkina)

本 店 : Place des Nations Unies北、Avenue Dindolobsom

支 店 : Avenue de la resistance、国連ビルの近く

電 話 : (本店) 306169~74、310100~5

営 業 : (換金) 月~金7:15~11:00、15:15~16:30

備 考 : 当国最大手。東京三菱銀行信託会社から送金可。T/Cの交換には1.8%の手数料とT/C作成時に受け取る番号リストの提示を求められる。CITY BANKのT/Cは交換不可。支店は本店より空いている

BICIA-B

(Banque Internationale pour le Commerce, l'Industrie et l'Agriculture du Burkina)

本 店 : Avenue Kwane N' Krumah

支 店 : Avenue de la resistance、Hotel Independance向かい

営 業 : (換金) 月~金7:15~11:15、15:15~17:30

情報窓口(残高照会など) 7:15~11:00、5:15~16:30

備 考 : T/C交換手数料は交換額により異なる。CITY BANK、VISA、THOMAS COOKなどのT/Cは交換不可。フランス銀行BNP(ベー・エヌ・ペー : Banque Nationale de Paris) 系列で、BNP東京支店から送金できる

ECOBANK

所在地 : Avenue de la resistance、Hotel Independance近く

(BICIA-B支店より南、空港寄り)

営 業 : 土曜午後も営業、平日は昼休みなし

備 考 : 交換率は悪い。CITY BANKのT/Cも交換可能

11-2 コンピュータ

当地で汎用している機種および消耗品は入手でき、ある程度の修理も可能である。日本メーカーの機種の修理や消耗品の調達は難しい。フロッピーディスクは調達できる。修理も受け付ける主な販売店は次のとおりである。

LIPTINFOR (リプタンフォー)

所在地 : Place des Nations Unites北、Avenue Dimdolobsom

電 話 : 311105

備 考 : IBM、DELL、Sunなど

Graphi Service (グラフィックセルヴィス)

所在地: Avenue Kwane N'Krumah

備考: Macintosh、Canonなど

11-3 美容院・理髪店

Coiff Style (コワフ・スタイル)

所在地: Hotel Independance内

電話: 310300 (要予約)

上記のほか、Gael Emmanuel (電話: 313298)、Hair et beauty coiffure (電話: 333862)、Hudson and Boissard (電話: 363459)、Institut de beaute FAB (電話: 301929) などがある。

12. 観光

12-1 地方旅行上の留意点

地方でも治安は比較的よい。注意が必要なのは北東部Dori (ドリ) 近辺の幹線道路で、強盗、追いはぎが出没するといわれている。車両で移動する分には問題ないが、バイクなどによる単独移動は避けたほうがよい。また、西部Banfora (バンフォラ) 近くの滝に盗賊が出る。

主要都市の出入り口では警察の検問と通行税の徴収がある。業務上の移動であれば出張復命書“ordre de mission” (オルドウル・ドウ・ミッション) を作成し、目的、出張日、訪問先、出張者、運転手、車種およびナンバーを明記する。出張復命書があれば警察の検問は簡単で、通行税も免除される。外国人の車には停止を命じないことも多い。業務以外で舗装幹線道路を利用する場合には、料金所で行き先と車両ナンバーを告げて通行税を支払う。

12-2 主要観光地・保養地ガイド

<日帰り圏内>

ワニの沼Mare aux Crocodiles (マレ・オ・クロコディル)

ワガドゥグの西方約90km、Sabou (サブ) の沼にワニが生息している。Bobo-Dioulasso方面に向かいSabou町中のGendarmeirの先を北上する。ワニは鶏で餌付けされており、人を襲うことはない。大人1500セーファーフラン、餌代2000セーファーフラン。バー・レストランにチキン料理がある。織物、ブロンズ像などの土産物店もある。

Laongo (ラオンゴ) 彫刻の森

ワガドゥグから東方Fada N' Grouma (ファダ・ングルマ) 方面へ31km、Boudlenga (ブドゥテンガ、丘を上った地点) を左折して数km北上すると、Laongoに自然の岩を彫った彫刻群が見られる。1989年に初めて日本人彫刻家が制作したといわれている。売店なし。警備をしている村人にチップを払う。

マネガ博物館Musée de Manega (ミュゼ・ドゥ・マネガ)

ワガドゥグから北方Kongoussi (コングシ) 方面へ約50km、Manegaに私立博物館がある。フランス語のガイドがつく。館内冷房なし。売店あり。アクセス道路は未舗装で状態は悪い。

動物公園Le Ranch de Nazinga (ル・ランチ・ドゥ・ナズィンガ)

ワガドゥグから南方のPUを経由して西へ向かう。公園入り口の森林局の管理事務所登録して入園料を払う。ゾウなどが生息する。バンガローで宿泊もできる。

<泊まりがけ>

Bobo-Dioulasso

首都ワガドゥグから西方約350km、ブルキナ・ファソ第三の都市。見所はバンコで作った白いモスク、旧市街地Quartier touristique Kibidoue (カルチエ・トゥーリスティック・キビドゥエ) など。ホテルは3000セーファーフラン程度の安宿から三つ星ホテルまで各種ある。

Hotel de la Gare (オテル・ドゥ・ラ・ガール) ☆☆☆

所在地：駅前

電話：970900、981845

FAX：981845

Auberge (オベルジュ) ☆☆

所在地：中央市場南、Rue Guillaume Ouegraogo

電話：971767～68、971426

FAX：972137

Relax Hotel (レラックス・オテル) ☆☆

所在地：中央市場南、Avenue Alwata Diawara (アルワタ・ジャワラ)

電話：972227、970096

FAX：971307

Diyanan (ディヤナン) ☆☆

所在地：中央市場南、Avenue Alwata Diawara

電 話：970769～70、980344

FAX: 971863

Watinoma (ワティノマ) ☆☆

所在地：中央市場南、Rue Pepin Malherbe

電 話：972082

Banfora

近くにこの国では珍しい滝がある。Bobo-Dioulassoから日帰りできる。

Arly (アルリ)

自然動物公園である。

Safari Hotel d'Arly (サファリ・ホテル・ダルリ) ☆☆☆

電 話：791579、791576 (営業期間注意)

Pama (パマ)

自然動物公園である。

Hotel de Brousse la Kompienga (ホテル・デュ・ラ・コンピエンガ) ☆☆☆

電 話：318444

次の都市は観光地ではないが、比較的いいホテルがある。

Gaoua (ガワ)

Hala☆☆☆

電 話：870121

Ouahigouya (ワイグヤ)

Amitie (アミチエ) ☆☆☆

電 話：550521

Tenkodogo (テンコドゴ)

Djamou (ジャム) ☆☆

電 話：710080、710237

FAX: 710029

12-3 旅行

(1) 自動車

ワガドゥグと主要都市はおおむね舗装道路で結ばれているが、Dori、Leo (レオ)、Dedougou (デドゥグ)、Kongoussi (コングシ)、Djibo (ジボ) 方面は未舗装である。道路案内は比較的よく整備されている。ガソリンスタンドは首都と地方都市には必ずあるが、村にはまったくない。

地方では、家畜群と人、自転車の横断に注意する必要がある。特に幹線道路が村落の中を通る場合は十分減速すること。未舗装道路では、先行車が舞い上げた土埃の中を住民が往来していることがある。

(2) バス

主要都市間は毎日運行している。ワガドゥグではバス会社ごとにバスターミナルの場所が異なるので注意すること。一部冷房車もあるが料金は同じである。チケットは前日までに買っておくと乗り込む順番が早くなる。日の当たる席は避けること。車内サービスはない。

(3) 鉄道

1路線のみである。象牙海岸のアビジャンから西部のBobo-Dioulassoを経由してワガドゥグに達し、さらに北のKayaまで週3便運行している。

(4) 航空機

Air Burkina (エール・ブルキナ) がワガドゥグ～ボボ・デュラッソ間を運航している。

12-4 旅行代理店

当地の旅行代理店は、国外旅行には対応できないところが多い。

Kenedia Travel (ケネディア・トラベル)

電話：315969

FAX：315970

備考：国外旅行の対応可能

Agence de Tourism (アジャンス・ドゥ・ツーリズム)

所在地：rue J.Badoua沿い、フランス学校Lycee St.-Exupery近く

上記のほか、Afrique Voyage (アフリック・ボワイアジュ 電話：300711、FAX：300762)、Inter Voyages (インター・ボワイアジュ 電話：315364、FAX：337211)、Sahel Voyages Excursions (サエル・ボワイアジュ・エクスクルスィオン 電話：315345、FAX：312653) などがある。

12-5. ホテルなど宿泊施設の手配

電話、ファクスで直接予約できるが、宿泊直前に確認を入れたほうがよい。

カードはVISAが最も通用する。Master、American Expresse、Dinors ClubなどもOuagadougouとBobo-Dioulassoの主要ホテルでは利用できる。その他の地方都市ではカードはほとんど使えない。

13. 治安、緊急時の心得

13-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

近年の治安はよく、民族紛争、公務員スト、選挙期間中の混乱は起こっていない。

1999年に入り、ジャーナリストの不審死、憲兵隊による電力公社職員の撲殺死に抗議してデモ、ストが行われた。

(2) 緊急時の連絡

邦人の連絡網はない。避難する場合はフランス大使館・軍に頼ることになる。

13-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況など

強盗はほとんどないが、泥棒は多い。夜のひとり歩きが危険な場所は、カテドラル付近とAvenue Dr. Kwane N' Krumahである。警察官が減ったこともあり、犯罪は増加傾向にある。1998年第2四半期(4～6月)の全国の主な犯罪は、盗難・強盗3437件、銃器による殺人・傷害170件、その他の傷害783件となっている(警察での聞き取りによる)。

邦人の被害例は、自宅(一戸建て)の配電盤の盗難、中央市場前でのハンドバッグのひったくり、Avenue Dr. Kwane N' Krumah競技場裏での追いはぎ(刃物による脅し)などである。

(2) 防犯対策

一戸建て住宅にはガードマンが不可欠であり、24時間警備が望ましい。出入り口の錠は2つ以上付けたほうがよい。

(3) 被害時の心得

刃物、銃器を持つ相手には抵抗しないこと。

警察の電話番号は17または307100である。JICA関係者はカウンターパート機関に連絡して協力を仰ぐこと。

13-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況など

雨期には一部の道路が水浸しとなり、通行困難になる。

火災は少なく、地震の可能性は少ない。

(2) 防災対策

一軒家の場合は、雨期の暴風雨を想定して家を整備する。停電が多いため、懐中電灯やろうソクはすぐ使えるようにしておくこと。また、断水に備えて飲料水をストッ

クしておくこと。

(3) 被災時の心得

JICA関係者は、他の在留邦人およびJICA象牙海岸共和国事務所に連絡すること。

JICA象牙海岸共和国事務所

所在地：7Boulevard Roume, Abidjan, Cote d'Ivoire

電話：+225-22-2290

FAX：+225-22-2291

私書箱：04 B. P. 1825 Abidjan 04, Cote d'Ivoire

14. 出入国手続きおよび帰国手続き

14-1 入国時

(1) 空港施設概要

タラップを降りてから到着入り口まで歩く。通常、出迎えは空港出口で行うが、特別な場合は荷物引き取り所まで入場が認められる。要人のためのVIPルームは到着口と反対側にある。

(2) 入国手続き書類

検疫 (sante ; サンテ) でイエローカード (黄熱病予防接種証明書)、入国審査で入国カードと旅券、滞在査証を提示する。イエローカードと滞在査証はあらかじめ用意しておくべきであるが、空港でも黄熱病の接種と査証の取得が可能である。

(3) 入国審査

入国カードをすべて記入していれば質問されることは少ない。滞在場所にはホテル名などを記入しておく。

<査証発給>

Gounghin地区、Avenue Kadiogo沿いのDCM事務所で1日程度で査証の延長ができる。1年間の滞在査証発行に2万セーファーフランかかるが、協力関係者は配属先のレター (発行に3週間ほどかかる) を添えれば費用は免除される。

DCM : Ministere de l'Administration Territoriale et de la securite, Division du Controle de la Migration

(4) 税関検査

JICA関係者の場合、先方政府の職員が随行していれば荷物の検査はない。税関係員にcooperationであることを伝える。

荷物検査をされた場合、電化製品、特にコンピュータは課税対象となりやすいので、私用であることを強調すること。新品は持ち込まないほうが無難である。

(5) 空港内での留意点

空港での盗難の事例はないが、警戒は必要である。

カートにはそれぞれポーターが付いている。ポーターへのチップは、荷物の個数にもよるが1000セーファーフラン程度である。

出口までトイレはないが、事情を説明すれば一時的に出ることは可能である。

(6) 空港からの主な交通手段

ワガドゥグ市内ならタクシーで1500～2000セーファーフラン程度である。

(7) その他の留意点

該当情報なし。

14-2 出国時

(1) 出国手続きの概要

出国口で航空券と旅券を提示し、出国カードをもらう（見送りはここまで）。

チェックインの後、旅券コントロールで、旅券、航空券、搭乗券、出国カードを提示する。空港利用料は徴収されない。この後、手荷物検査を経て待合いロビーに進む。

ファースト・ビジネスクラス用のラウンジは手荷物検査を過ぎたほぼ正面にある。手荷物検査の手前の階段を上ると、2階には売店・レストランがある。

エア・フランスを利用の場合、搭乗前に改めて手荷物検査があり、かなり綿密に調べられる。

ヨーロッパ便は夜間出発だが、15:00～17:00にチェックインができる。

(2) 出国手続き上の留意点

再入国する場合は査証の有効期限を確認すること。出国審査のときに滞在したホテルの部屋番号を聞かれることが多い。

14-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

アフリカなど経山国の査証が必要である。

(2) 車の処分

知人の紹介か、スーパーマーケットなどの掲示板に広告を出して買い手を探す。

(3) 家財道具の処分

日本への輸送実績があるのは下記の業者である。

AGS (アー・ジェー・エス)

所在地：Zone du bois地区、赤十字Crois Rouge (クロワ・ルージュ) 近く

電話：361679

FAX：361825

備考：日本の通関業者は会社名、電話、FAX番号がわかっているだけで指定できる。

航空便、船便ともに可能 (ただし船便は郵便局から発送したほうが安い)

輸送は一括でも、私品と公品と別々の見積書・領収書を発行する。手続きには旅券コピーと配属先などが発行する「出国証明書」が必要である。出国証明書には、氏名、旅券番号、生年月日、出発日などを明記する。

任国で処分する場合は、他の邦人に譲渡・売却するか、スーパーや学校の掲示板に広告を出して買い手を探す。

(4) 住宅の明け渡し

家主への通知期限は賃貸契約書に明記されており、通常1～3カ月前である。

電気、水道、電話のデポジットは手続きの当日に返還される。次の借家人が決まっている場合は、家主が了承したうえで、デポジットの権利を次の借家人に委託することを記載した証明書を作成し、次の借家人からデポジット額を受け取ることもできる。証明書は3通作成し、家主にも一部渡す。

(5) 外貨持ち出し規制

該当情報なし。

15. 私財の輸送、引き取り、購入

15-1 家財道具

(1) 輸送業者

西アフリカで実績があるのは、日本通運、西濃コスモである。船便は取り扱わない。

(2) 輸入手続き

旅券コピー、Invoice、免税申請書などの書類が必要である。輸入手続きは個人でもできるが、免税申請書などの書類作成も含めて代理業者に依頼したほうがよい。留意事項は次のとおりである。

・日本の業者からの書類到着は遅れがちなので、催促してPAX送信させる。

・荷物到着の案内は郵送されるが、ワカドゥグ市内の郵便事情が悪いので、ときどき

空港の窓口で機材の到着を確認する。

- ・ 1回目の輸入には税関での登録が必要である。Boulevard de Revolutionの税関総局Direction generale des Douanes（空港近く）に本人が旅券を持参する。

(3) 輸入荷物の受取り港

航空便はワガドゥグ空港のAir Afrique（エール・アフリック）のcargo（カルゴ）事務所へ、船便の郵送荷物は郵便局本局裏側の専用集配所（rue 3.52）に届く。JICA専門家の輸入免税の根拠となる書類は英語のAIフォームだが、英語はあまり通用しないので係員によく説明する必要がある。

(4) 家財道具の購入

協力関係者には入国後6カ月以内なら輸入品の免税措置が取られる。

15-2 自動車

(1) 一般状況

任国で購入する場合、関税が高いため免税手続きを取ったほうがよい。中古車は整備状態が悪いので避けたほうが無難である。郊外に出る機会が多いなら、四輪駆動車が必要である。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 任国での購入

一家族につき1台は免税価格で購入できる。免税価格で購入する場合、代理店は注文が入ってから輸入手続きを始めるため、1～2カ月は待たされる。車種は限られるが、すでに免税で輸入した車両が店頭があれば手続きは早い。

(4) 自動車登録

協力関係者のプレートはIT (Importation Temporaire) となる。登録は代理店が代行する。JICA専門家の場合、手続きは一括して配属先に依頼したほうがよい。

車検は毎年、空港裏にある車両管理センターCCVA (Centre de Controle de Vehicule Automobiles) で受ける。

(5) 免許証取得

日本で発行する国際免許証はブルキナ・ファソ国内でも使用可能である。ブルキナ・ファソはジュネーブ条約加盟国ではないが、「日本発行国際免許証での運転は認められる」と陸海輸送局 (DTM) にて確認済みである。

長期滞在で国際免許証の有効期限が切れる場合は、国内免許証への切り替えが必要である。切り替え時には写真4枚と旅券を所定の用紙とともに下記に提出する。手続

きには2000セーファーフラン必要である。

DTTM : Direction des transports Terrestres et Maritimes

(ディレクシオン・デ・トランスポート・テレストゥル・エ・マリティム)

所在地 : rue Agostino Netoとavenue Kwamé N'Krumiahの角

電 話 : 324292~3

なお、フランスの免許証も通用するので、フランスに居住する機会があれば書き換えておくと便利である。

(6) 保険、税金

保険会社は次のとおりである。

FONCIAS (フオンシァス)

電 話 : 306204~6

SONAR (ソナル)

電 話 : 306243~4、308976~7

UAB (ユー・アーベ)

電 話 : 312615

16. 社交

16-1 風俗習慣

国民の何割かはイスラム教徒で、ラマダン(断食)を行う人もいる。しかし、イスラムの戒律はそれほど厳しく守られてはいない。

祝祭日のうち、イスラム教、キリスト教にかかわるものは日が変わることが多い。また、どの祝日が休日になるか年によって変更されることもあるので、祝日の前に確認したほうがよい(P.4の「1 概況」を参照のこと)。

16-2 パーティーでの留意点

原則として、イスラム教徒に対しては豚肉、酒類を給仕しない。貝類は、ブルキナ人にはあまり好まれない。

16-3 来客時の留意点

該当情報なし。

16-4 訪問時の留意点

該当情報なし。

16-5 禁止されている言動

大統領府周辺、空港および軍関係施設のビデオ・写真撮影は禁止されている。見つかると撮影機材ごと没収されるので、市内の撮影は要注意である。どうしても撮影が必要な場合は関係機関から撮影許可を得たほうがよい。

17. 任国官公庁

公務員の勤務時間は月～金の7:00～12:30、15:00～17:30である。出勤の出足は遅いが残業はしばしば行われており、土曜出勤も珍しくない。祝日の前日や映画祭、国際見本市などのイベント期間中はjournée continueとなり、昼休みなしで7:00～14:30が勤務時間となる。日本との時差は-9時間である。

1999年1月現在の省編成は次のとおりである。(出所：地元紙『LE PAYS』)

農業省 (Ministere de l'Agriculture)

環境水省 (Ministere de l'Environnement et de l'Eau)

外務省 (Ministere des Affaires Etrangeres)

経済大蔵省 (Ministere de l'Economie et des finances)

防衛省 (Ministere de la Defense)

法務省 (Ministere de la Justice)

国土行政安全保障省

(Ministere de l'Administration territoriale et de la securite)

商工業手工芸省 (Ministere du Commerce, de l'industrie et de l'artisanat)

エネルギー鉱山省 (Ministere de l'Energie et des mines)

中高等教育科学研究省

(Ministere des Enseignements secondaire, superieur et de la recherche scientifique)

基礎教育識字省

(Ministere de l'Enseignement de base et de l'alphabetisation)

社会基盤住居都市省

(Ministere des Infrastructures, de l'habitat et de l'urbanisme)

公務員機構開発省

(Ministere de la Fonction publique et du developpement institutionnel)

雇用労働社会保障省

(Ministère de l'Emploi, du travail et de la sécurité sociale)

地域統合省 (Ministère de l'Intégration régionale)

通信文化省 (Ministère de la Communication et de la culture)

保健省 (Ministère de la Santé)

青年スポーツ省 (Ministère de la Jeunesse et des sports)

運輸観光省 (Ministère des Transports et du tourisme)

社会活動家族省 (Ministère de l'Action sociale et de la famille)

動物資源省 (Ministère des Ressources animales)

女性地位向上省 (Ministère de la Promotion de la femme)

18. 在外日本関係機関など

1999年10月に青年海外協力隊事務所が開設された。

19. 地方都市

JICA長期専門家が滞在している地方都市はない。

任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する専門家などのJICA関係者が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、特に生活情報を提供するものです。

専門家などのJICA関係者は、技術協力協定などの国際約束に基づいて派遣されておりますので赴任国で課せられる税金が免除されることがあります。任国情報はこうした関係者を対象として作成されておりますので、あらかじめご了解願います。

..... アジア地域.....

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、
ジョグジャカルタ、メダン)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

..... 中近東地域.....

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタール
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブダビ、アジュマン)
16. イエメン (サナア)

..... 太平洋地域.....

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. パラオ
5. パプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

..... 欧州地域.....

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア
9. チェッコ
10. ルーマニア

..... アフリカ地域.....

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサウ
11. コートディボアール
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル (アンタナナリボ、アンチラナナ)
15. マラウイ
16. モーリタニア
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア
33. 南アフリカ
34. ジブティ
35. ウガンダ
36. ブルキナ・ファソ

..... 中南米地域.....

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオ・デ・ジャ
ネイロ、ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグァイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグァイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグァ
21. ジャマイカ
22. エル・サルヴァドル

「任国情報（ブルキナ・ファソ）1999年版」

平成11年12月15日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03) 3269-2357

